

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	②	職員配置数は適切であるか	○			定数の中で、実質を重視し、有能な職員を配し、かつ、利用者との信頼を得られる関係作りに努めている。
	③	事務所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			全室フローリングで段差のないつくりである。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		
	⑤	保護者向けの評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			お迎え時に、日々の状況を詳しく伝達している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか			○	法人のホームページに公開予定。(H31年3月末開示)
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		関係者の感想や、一般の評判等を重んじて改善につなげている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		日々の支援に影響ない範囲で、資質向上に必要な研修に参加できるようにしている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			個々の状態の情報を職員全員で共有し、最良の方策を模索している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			基礎学力やコミュニケーションの向上につながるよう様々な方策を試みている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	○			活動する一日の時間の長さに応じて、個々の特性に配慮しつつ、活動プログラムを決めている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個々の発達状況を見極め、個別、集団活動を行っている。

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日の職員会議で、業務内容を確認し、責任分担を明確にしている。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			毎日、一日の成果を報告しあい、翌日の業務につなげている。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			異変については、より詳細に記録するようにしている。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○				
	⑲	ガイドライン総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか		○			
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○			
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校送迎時に学校からの情報を得るとともに、保護者からの連絡票に基づき、本人の事故、急病等に迅速に対応している。	
	㉒	医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○			医療ケアの常時必要者はいないが、てんかん等、様々な急患の発生に備えている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○			以前の情報提供を求めているが、現時点での学校や関係機関との関係は密に保っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉事業所サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○			求めに応じて、客観的見地からの情報を提供している。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				日本社会事業大学の研究チームの研究に関与している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○		今はないが、機会あれば対応できるよう、体制を整えている。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○		要請には欠かさず応じている。
	㉘	日ごろから子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				日々の状況を伝えたり聞いたりして、共通認識のもと、保護者との意思の疎通をはかっている。

	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			聞き役に徹しつつ、アドバイスできることは、積極的に伝えている。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者会がない分、利用者本人との関わりに専念している。
	③⑬	子どもや保育者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情等の問題あれば、すぐに改善をはかって対応できる体制を整えている。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○	利用者自らが意思を発揮できるようにすることに力点を置いている。また必要に応じて不定期ではあるが、保護者への連絡も行っている。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			個々の利用者の情報を職員間で共有し、適切な対応がなせるように努めている。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	新開地で相互の交流は乏しいが、隣組の付き合いから始めて、交流を深めている。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		職員では対応策が出来ているが、利用者には、伝えていないので、折を見て伝えたい。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		いかなる場合も身体拘束はしないが、自傷他害の恐れが生じた場合、医療機関等の外部の助けを求めるが、それまでの間、部屋に隔離する等の対応策を為す旨の了解を得ていく。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		通所開始時にアレルギーを確認し、あれば個別対応している。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		不測の事態への対応を職員間で話し合い、冷静沈着な行動を心掛けている。

